

インターバンクの声（2016 年 4 月 13 日）

昨晚、東京市場を終えた後のロンドン、ニューヨーク市場のドル円は、終始109円台前半から中盤での取引が続いた。ニューヨーク市場の朝方に発表された3月の米小売売上高などの数字がもう少し強い内容になっていれば110円に近づくか、場合によっては越えるようなこともあったかも知れないが、アジア時間からドル買いを後押しするような材料が続いたことを考えれば、ほどほどの水準まで上がったと思うべきだろう。むしろ小売売上高の予想外の減少で、米連邦準備制度理事会(FRB)の利上げに対する慎重な姿勢が正当化され、4月の利上げがほぼ消えたとの判断に再び109円割れがなかったのを評価すべきだろう。麻生財務相とルー米財務長官の会談やG20の行方も気になるが、4月後半に最も注目すべきは日銀の金融政策決定会合になりそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。